

## 1-1. はじめに～活用ビジョン策定の趣旨（1）

### ●活用ビジョンの目的

- ・ あいりん総合センターが所在する「あいりん地域」は、西成区北東部に位置する狭小な地域であるが、地域内に建設日雇労働の紹介施設を抱えるとともに、多くの簡易宿所が集積していることなどから、長らく「日雇労働のまち」として、大阪の成長・発展を支えるとともに、社会経済情勢の変化などによって、貧困をはじめとした様々な課題を抱えてきた地域でもある。
- ・ その一方で、同地域は、市内でも有数の交通結節点である新今宮駅や動物園前駅に近接し、各所からのアクセスに優れるほか、浪速区や阿倍野区に隣接し、市内有数の繁華街であるなんば・天王寺からも非常に近い場所にある。
- ・ あいりん総合センターは、国・大阪府が所管する労働者の支援施設と、大阪市が所管する市営住宅及び病院が合築された施設であるが、建設から約50年が経過して老朽化するとともに、耐震性が不足していることから、同センターを構成する各施設を更新することとされた。また、市道をはさんで隣接する市営住宅についても、同センターの更新を契機にして、まちづくりの観点から、同様に更新することとされた。
- ・ これによって、あいりん総合センター及び隣接する市営住宅並びにそれらの間の市道によって構成される、約10,000㎡の台形の土地（以下「本件跡地等」という。）が生み出されることとなるため、今後、この土地を有効に利活用していく必要がある。
- ・ 活用ビジョンは、これらの経過や地域特性などを踏まえた上で、本件跡地等の有効な利活用に向けて、土地利用や導入機能の検討内容などのとりまとめを行い、それらの内容の具体化等に向けた検討などに資するべく、策定するものである。
- ・ なお、活用ビジョンは、地域の取組等をはじめ、隣接地域のまちづくりとも親和性を持たせるため、「西成特区構想」における様々な事業や「新今宮駅北側まちづくりビジョン」（大阪市・2020年9月策定）などと連携を図っていく。

## 1-1. はじめに～活用ビジョン策定の趣旨（2）

### ●活用ビジョン策定における留意点

- ・ 大阪市では、前述のようなあいりん地域が抱える課題、これまでの経過や地域特性などに鑑みて、平成25年度から「西成特区構想」を実施してきた。
- ・ その大きな内容の一つとして、施策等の立案段階から、積極的に地域の意見を聴き、施策等の内容に反映していくという「ボトムアップ方式」によるまちづくりという要素がある。
- ・ そして「ボトムアップ方式」によるまちづくりを実現するために、平成27年度から、地域の様々な関係者が参加する「あいりん地域まちづくり会議」を開催するとともに、国（大阪労働局）及び大阪府の協力を得て、テーマ別検討会議を開催し、あいりん総合センターを構成している市営住宅・病院・労働施設の更新など、細部の検討などを実施してきた。
- ・ よって、活用ビジョンを策定するにあたって、これまでに出了れた地域からの意見等を尊重し、当該意見等を踏まえ、検討を行っていくものとする。

### 【これまでの議論（西成特区構想を契機にした多様な主体によるまちづくりの議論）】

- ・ 西成特区構想にかかる有識者からの提言
  - 2012年（平成24年）10月「西成特区構想有識者座談会報告書」
  - 2018年（平成30年）4月「西成特区構想、5年間の成果と次期特区構想についての有識者提言」
  - 2018年（平成30年）10月「西成特区構想まちづくりビジョン2018～2022有識者提言」
- ・ 「エリアマネジメント協議会」や「あいりん地域まちづくり会議」における地域からの意見等
  - 2020年（令和2年）3月「あいりん総合センター跡地等利用イメージ」
  - 2020年（令和2年）10月「あいりん総合センター跡地等に求める機能について」

## 1-2. 活用ビジョンの対象範囲

- 活用ビジョンの対象範囲は、下図の「本件跡地等」として示す区域とする。
- 本件跡地等の活用においては、周辺のまちづくりや各種施設、機能等との連携も重要な観点であることから、それらとの関係性についても検討を行う。

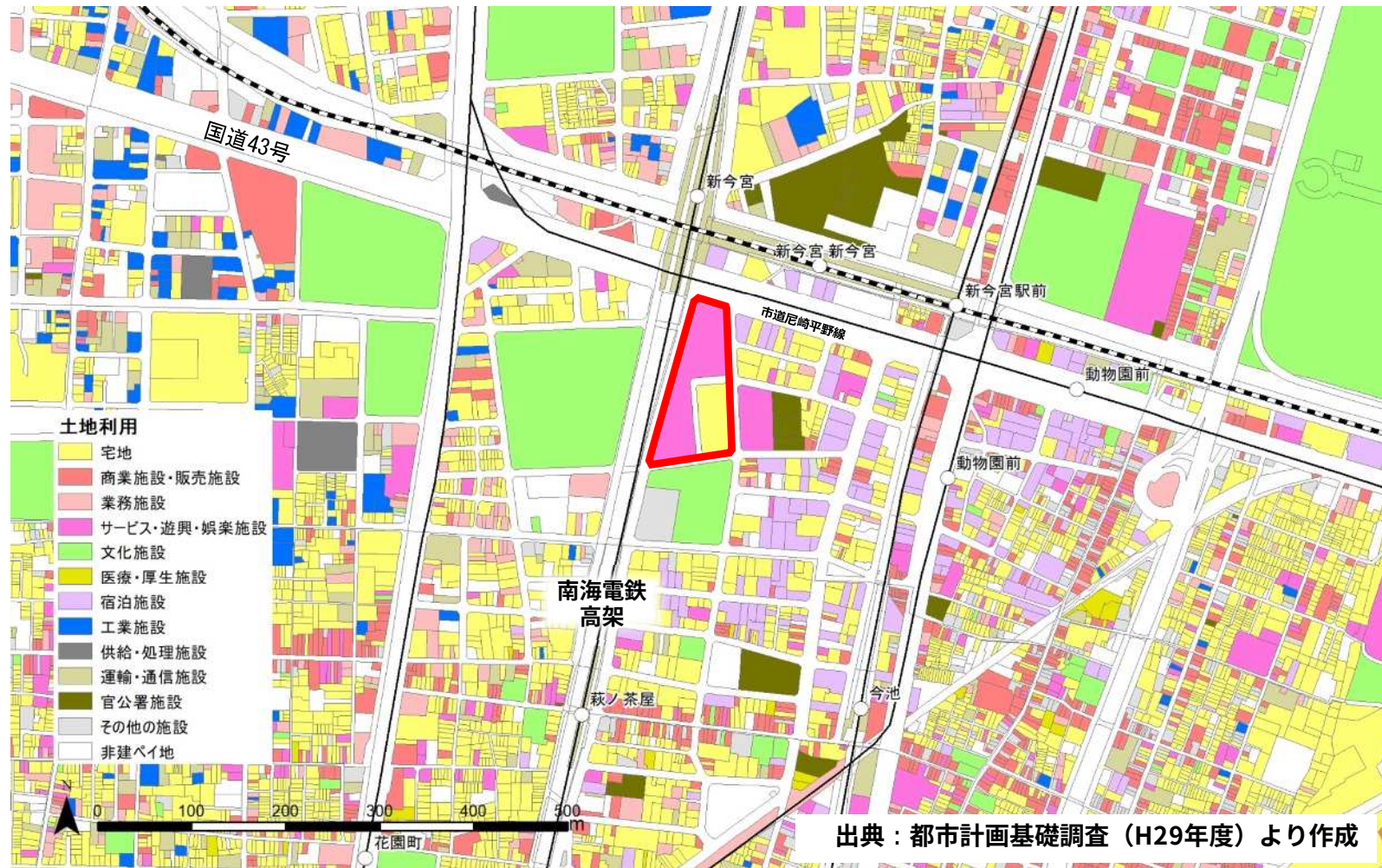




## 2. あいりん地域の概況（1）

### 【本件跡地等の周辺の土地利用】

- 南海電鉄高架以東及び市道尼崎平野線以南は、主に宿泊施設・宅地・商業施設等が混在して立地するエリアである。
- 動物園前駅周辺・萩ノ茶屋駅周辺などを中心に商業施設等が集積し商店街が形成されている。
- 南海電鉄高架以西は宅地中心の土地利用で、文化施設（教育関連）の立地も見られ、住宅地が形成されている。
- JR大阪環状線以北は大規模な施設用地等が分布している。





## 2. あいりん地域の概況（2）

### 【地域の人口・居住者の動態】

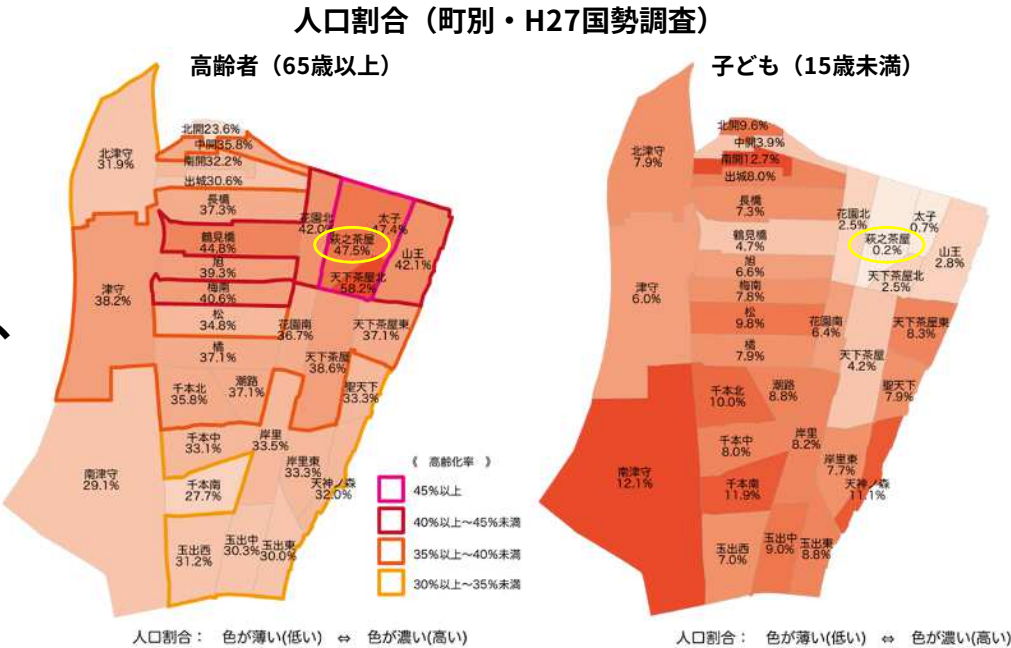
- 高齡化が顕著で、子どもや若者の割合が極端に少ない
  - 本件跡地等が所在する萩之茶屋地域は高齡化率が47.5%（2015（H27）国勢調査）に達しており、区全体でも、特に高齡化が顕著な地域である。
  - あいりん地域の15歳未満の子どもの割合は1%であり、15歳～34歳の若者とあわせても、10%に満たない。
- 急速な人口減少
  - 今後、あいりん地域で急速に人口が減少すると予測され、大阪市全体の減少率と比べても顕著である。
- 外国人居住者の存在
  - 西成区の外国人人口・世帯数は生野区（27,953人・16,191世帯）に次いで市内で2番目に多い（9,811人・6,950世帯）。

あいりん地域 年齢構成別 人口推移と年齢別シェアの推移 推計 2015-2035 年

| あいりん地域全体 | 2005年 | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人数（不詳除く） | 24212 | 19847 | 17287 | 14506 | 11802 | 9452  | 7573  |
| 男性比      | 85%   | 85%   | 85%   | 85%   | 85%   | 85%   | 86%   |
| 高齡化率     | 31%   | 40%   | 48%   | 52%   | 50%   | 48%   | 48%   |

| あいりん地域全体 | 2005年 | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 15歳未満    | 1%    | 1%    | 1%    | 1%    | 1%    | 1%    | 1%    |
| 15歳～34歳  | 9%    | 8%    | 7%    | 6%    | 5%    | 5%    | 5%    |
| 35歳～49歳  | 15%   | 14%   | 14%   | 15%   | 15%   | 15%   | 14%   |
| 50歳～64歳  | 44%   | 37%   | 29%   | 27%   | 28%   | 30%   | 33%   |
| 65歳～74歳  | 24%   | 29%   | 32%   | 31%   | 25%   | 22%   | 24%   |
| 75歳以上    | 7%    | 11%   | 16%   | 21%   | 26%   | 26%   | 24%   |
| 高齡化率     | 31%   | 40%   | 48%   | 52%   | 50%   | 48%   | 48%   |

出典：大阪市立大学都市研究プラザ『あいりん地域の現状と今後  
—あいりん施策のあり方検討報告書—』より（2012年）



出典：平成29年度 西成区における今後のまちづくりの方向性に関する  
検討調査業務報告書（2017年3月）

行政区別・男女別・外国人人口及び世帯数（人口計の多い順に並び替え）

|      | 人口(外国人) |        |        | 世帯数    |
|------|---------|--------|--------|--------|
|      | 男       | 女      | 計      |        |
| 生野区  | 13,332  | 14,621 | 27,953 | 16,191 |
| 西成区  | 5,046   | 4,765  | 9,811  | 6,950  |
| 浪速区  | 4,575   | 5,006  | 9,581  | 6,792  |
| 中央区  | 3,965   | 5,154  | 9,119  | 5,951  |
| 平野区  | 4,358   | 4,397  | 8,755  | 4,736  |
| 淀川区  | 3,693   | 3,903  | 7,596  | 4,982  |
| 東成区  | 3,491   | 3,886  | 7,377  | 4,372  |
| 東淀川区 | 3,666   | 3,694  | 7,360  | 5,040  |
| 北区   | 2,820   | 3,011  | 5,831  | 3,501  |
| 城東区  | 2,690   | 2,834  | 5,524  | 3,264  |
| 西区   | 2,416   | 2,569  | 4,985  | 3,271  |
| 天王寺区 | 2,198   | 2,583  | 4,781  | 2,585  |

|      | 人口(外国人) |       |       | 世帯数   |
|------|---------|-------|-------|-------|
|      | 男       | 女     | 計     |       |
| 住吉区  | 2,152   | 2,335 | 4,487 | 2,589 |
| 西淀川区 | 2,305   | 2,138 | 4,443 | 2,733 |
| 住之江区 | 2,001   | 2,236 | 4,237 | 2,447 |
| 東住吉区 | 1,872   | 1,909 | 3,781 | 2,173 |
| 都島区  | 1,745   | 1,692 | 3,437 | 2,157 |
| 阿倍野区 | 1,673   | 1,667 | 3,340 | 2,028 |
| 港区   | 1,688   | 1,594 | 3,282 | 2,081 |
| 旭区   | 1,124   | 1,216 | 2,340 | 1,434 |
| 此花区  | 1,084   | 1,047 | 2,131 | 1,290 |
| 鶴見区  | 1,023   | 1,076 | 2,099 | 987   |
| 大正区  | 966     | 777   | 1,743 | 1,059 |
| 福島区  | 813     | 914   | 1,727 | 929   |

出典：令和2年（2020年）3月末住民基本台帳人口

## 2. あいりん地域の概況（3）

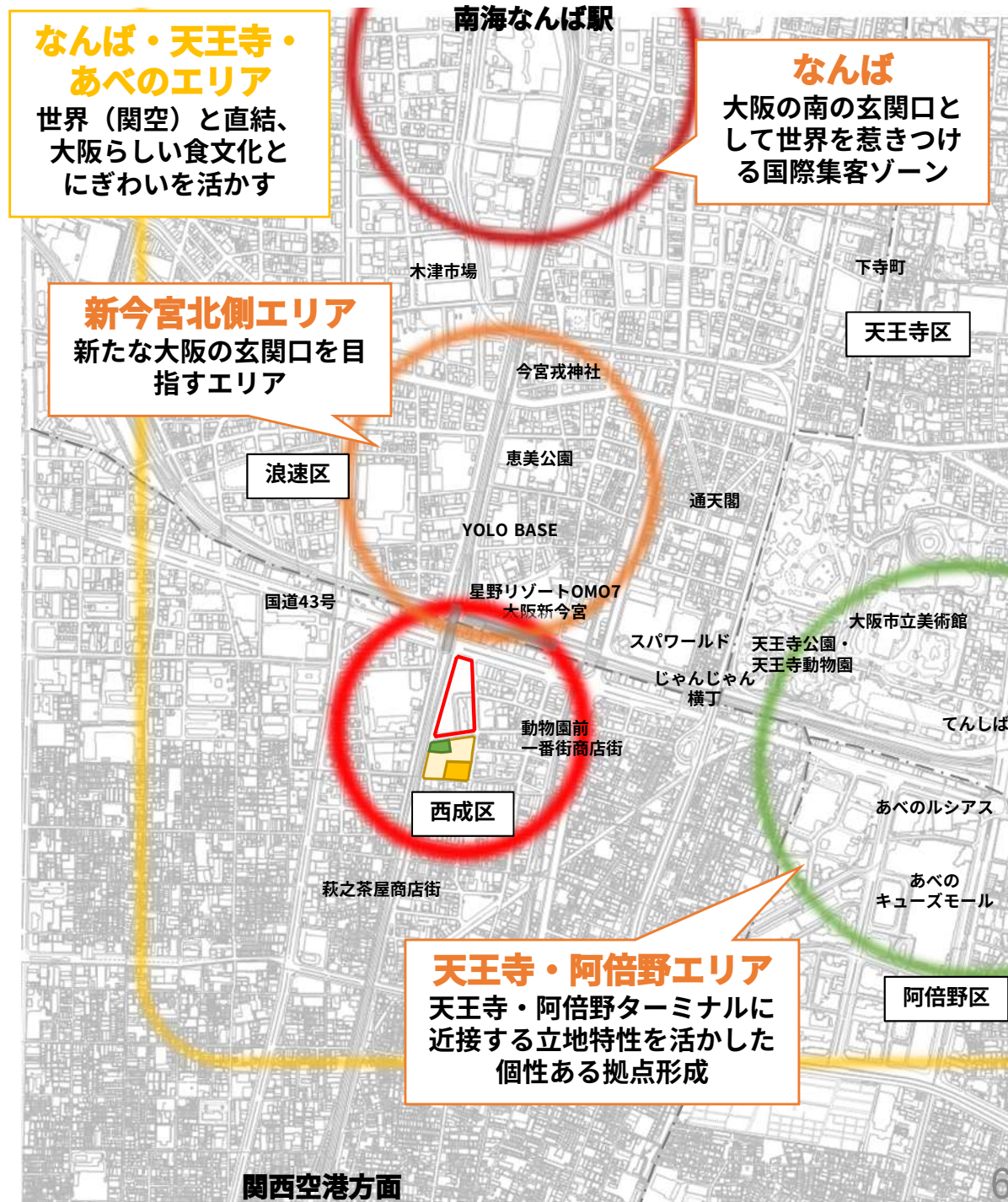
### 【広域的なまちの立地・特性】

#### ●なんばエリアと新世界、天王寺・阿倍野エリアをつなぐ広域ミナミの中心に位置

- 大阪都心南部拠点のなんばエリアとターミナル機能を持つ天王寺・阿倍野エリアに近接し、広域ミナミの中心に位置している。
- グランドデザイン大阪における象徴的な「なんば・天王寺・あべのエリア」として、世界（関空）と直結、大阪らしい食文化とにぎわいを活かす方向性とされている。
- 新今宮地区は、「大阪都市魅力創造戦略2025（大阪府・市、2021年3月策定予定）」における重点エリアに位置付けられている。

#### ●新今宮駅北側エリアと隣接する他、周辺に多様なエリアが存在

- 新たな大阪の玄関口としてまちづくりを進める「新今宮駅北側エリア」と隣接するほか、周辺には多様なエリアが存在している。





## 2. あいりん地域の概況（4）

### 【高い交通利便性・地の利】

#### ●複数路線が乗り入れる交通結節点

- ・ 南海電鉄（本線・南海高野線）、JR（大阪環状線・大和路線）、大阪メトロ（御堂筋線・堺筋線）、阪堺線の計7路線が乗り入れており、大阪市内でも有数の交通結節点である。
- ・ JR・南海の新今宮駅は多数の乗客にとって両線の乗り換え駅となっている。また、大阪メトロ動物園前駅は御堂筋線・堺筋線の2線が乗り入れており、大阪都心部へのアクセスに優れているなどの特徴がある。

#### ●なにわ筋線の乗り入れ

- ・ 今後、なにわ筋線の乗り入れ（2031年開業予定）により、大阪駅・新大阪駅などへの速達性が高まり、さらなるアクセスの向上、大阪市外や府外からの集客効果なども期待される。

